



2025年7月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（連結）

2025年3月17日

上場会社名 株式会社クロスフォー 上場取引所 東
 コード番号 7810 URL <https://crossfor.co.jp/>
 代表者（役職名） 代表取締役社長（氏名） 土橋 秀位
 問合せ先責任者（役職名） 取締役（氏名） 山口 毅（TEL）057-008-9640
 半期報告書提出予定日 2025年3月17日 配当支払開始予定日 —
 決算補足説明資料作成の有無 : 無
 決算説明会開催の有無 : 有（機関投資家・アナリスト向け）

（百万円未満切捨て）

1. 2025年7月期第2四半期（中間期）の連結業績（2024年8月1日～2025年1月31日）

（1）連結経営成績（累計）

（%表示は、対前年中間期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年7月期中間期	1,824	11.6	25	—	21	—	17	—
2024年7月期中間期	1,635	8.8	△41	—	△36	—	△35	—

（注）包括利益 2025年7月期中間期 16百万円（—%） 2024年7月期中間期 △34百万円（—%）

	1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益
	円 銭	円 銭
2025年7月期中間期	1.01	—
2024年7月期中間期	△2.10	—

（注）2024年7月期中間連結会計期間の潜在株式調整後1株当たり中間純利益については、潜在株式は存在するものの、1株当たり中間純損失であるため、記載しておりません。

また、2025年7月期中間連結会計期間の潜在株式調整後1株当たり中間純利益については、潜在株式は存在しないため、記載しておりません。

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年7月期中間期	4,975	1,808	36.3
2024年7月期	5,218	1,790	34.3

（参考）自己資本 2025年7月期中間期 1,804百万円 2024年7月期 1,790百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年7月期	—	0.00	—	0.35	0.35
2025年7月期	—	0.00	—	0.35	0.35
2025年7月期（予想）	—	—	—	0.35	0.35

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2025年7月期の連結業績予想（2024年8月1日～2025年7月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	3,750	9.8	50	—	34	—	30	5.7	1.76

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当中間期における連結範囲の重要な変更 : 有
新規2社(社名) Crossfor(Thailand) Co., Ltd. CROSSFOR INDIA PRIVATE LIMITED、除外1社(社名) -

(2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2025年7月期中間期	17,845,000株	2024年7月期	17,805,000株
2025年7月期中間期	798,081株	2024年7月期	798,081株
2025年7月期中間期	17,040,962株	2024年7月期中間期	16,946,919株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(中間期)

※ 第2四半期(中間期)決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等に関する将来の記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

(決算補足説明資料及び決算説明会内容の入手方法について)

当社は、機関投資家及びアナリスト向けの決算説明会を開催する予定です。この説明会で配布する決算説明資料については、開催後速やかに当社ホームページに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当中間期の経営成績の概況	2
(2) 当中間期の財政状態の概況	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 中間連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 中間連結貸借対照表	4
(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書	6
(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等の注記)	9
(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)	9

1. 経営成績等の概況

(1) 当中間期の経営成績の概況

当中間連結会計期間(2024年8月1日~2025年1月31日)の連結業績は、以下のとおりであります。

1. 売上高 1,824百万円(前年同期比11.6%増)
この増加は主に前連結会計年度より取り組んできたライブ販売の成果が顕在化したこと、加えて国内の大手小売店、問屋の地金相場高騰に適した企画提案が奏功し、受注が堅調に推移したことによるものであります。一方海外は北米市場や中東市場の再開拓が進んだものの、大手得意先からの受注が軟調であったことから前年同期に比べて4.5%減となりました。
2. 売上総利益 615百万円(前年同期比12.1%増)
この増加は主に国内売上高が伸長したこと、適正な売上総利益率の確保に努めたこと、地金の再精錬処理において時価評価差益が発生したことによるものであります。
3. 販売費及び一般管理費 589百万円(前年同期比0.1%減)
この減少は、国内外展示会への出展を増やしたこと、前連結会計年度の11月から基幹システムが稼働し減価償却費が計上されたこと、社員の生活の安定を図るため基本給のベースアップを実施したこと等による増額を、支払手数料の削減等の経費適正化により補ったことによるものであります。
4. 営業利益 25百万円(前年同期は営業損失41百万円)
5. 営業外収益 14百万円(前年同期比26.2%減)
これは主に前年同期に比べて円高が進んだ結果、為替差益が7百万円減少したこと等によるものであります。
6. 営業外費用 18百万円(前年同期比23.2%増)
これは主に支払利息が3百万円増加したことによるものであります。
7. 経常利益 21百万円(前年同期は経常損失36百万円)
8. 親会社株主に帰属する中間純利益 17百万円(前年同期は親会社株主に帰属する中間純損失35百万円)

当中間連結会計期間の業績は、全ての段階利益において黒字化を達成致しました。今後についても当社グループがグローバルで唯一無二のジュエリー・アクセサリブランドであり続け、未来に向けて着実に成長していくため、以下の施策を継続して実施していきます。

- 1) 世界中のブランドと共生できるオリジナル製品の開発
- 2) グローバル拡販の加速・北米市場の深耕
- 3) デジタルトランスフォーメーションの推進
- 4) 事業の拡大とサステナビリティへの取り組み

なお、当社グループの事業セグメントは、「ジュエリー事業」の単一セグメントであるため、セグメントごとの記載を省略しております。

(2) 当中間期の財政状態の概況

① 資産、負債及び純資産の状況

(資産の部)

当中間連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末と比べ242百万円減少し、4,975百万円となりました。これは主に、現金及び預金が110百万円減少、商品及び製品が52百万円減少、仕掛品が60百万円減少、有形及び無形固定資産が46百万円減少しましたが、受取手形及び売掛金が89百万円増加したこと等によるものであります。

(負債の部)

当中間連結会計期間末における負債合計は、前連結会計年度末と比べ260百万円減少し、3,167百万円となりました。これは主に、長期借入金(1年内返済予定を含む)が264百万円減少、社債が27百万円減少しましたが、短期借入金が増加したこと等によるものであります。

(純資産の部)

当中間連結会計期間末における純資産合計は、前連結会計年度末と比べ17百万円増加し、1,808百万円となりました。これは主に親会社株主に帰属する中間純利益17百万円を計上したこと等によるものであります。

② キャッシュ・フローの状況

当中間連結会計期間における現金及び現金同等物(以下、「資金」という。)は、前連結会計年度末と比べ129百万円減少し、779百万円となりました。当中間連結会計期間におけるキャッシュ・フローの状況とそれらの要因は、次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当中間連結会計期間における営業活動による資金の増加は、128百万円(前年同中間期は227百万円の収入)となりました。これは主に、減価償却費56百万円、棚卸資産の減少額109百万円、未払又は未収消費税等の増加56百万円等の増加要因があったものの、売上債権の増加額89百万円等の減少要因があったことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当中間連結会計期間における投資活動による資金の減少は、28百万円(前年同中間期は21百万円の支出)となりました。これは主に、定期預金の預入・払戻による収支18百万円等の減少要因によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当中間連結会計期間における財務活動による資金の減少は、232百万円(前年同中間期は200百万円の支出)となりました。これは主に、長期借入金の返済による264百万円の減少、短期借入金の借入・返済による収支60百万円増加、社債の償還による27百万円、配当金の支払額5百万円の減少要因によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、2024年9月13日に公表いたしました「2024年7月期決算短信」における通期の連結業績予想から変更はありません。

2. 中間連結財務諸表及び主な注記

(1) 中間連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年7月31日)	当中間連結会計期間 (2025年1月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	958,540	847,931
受取手形及び売掛金	538,482	628,276
商品及び製品	980,211	927,878
仕掛品	313,662	252,798
原材料及び貯蔵品	690,878	691,698
その他	122,028	76,688
貸倒引当金	△426	△1,125
流動資産合計	3,603,377	3,424,145
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	853,404	833,021
土地	331,094	331,094
その他(純額)	84,649	79,294
有形固定資産合計	1,269,148	1,243,410
無形固定資産	200,983	179,916
投資その他の資産		
長期貸付金	5,505	4,097
その他	135,691	121,295
貸倒引当金	△449	△458
投資その他の資産合計	140,747	124,934
固定資産合計	1,610,879	1,548,262
繰延資産		
社債発行費	3,880	3,139
繰延資産合計	3,880	3,139
資産合計	5,218,136	4,975,547

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2024年7月31日)	当中間連結会計期間 (2025年1月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	130,870	125,992
短期借入金	670,000	730,000
1年内償還予定の社債	54,000	54,000
1年内返済予定の長期借入金	589,704	514,087
未払法人税等	9,253	7,558
賞与引当金	—	1,302
その他	92,106	70,845
流動負債合計	1,545,934	1,503,786
固定負債		
社債	95,000	68,000
長期借入金	1,782,528	1,593,756
その他	4,062	1,491
固定負債合計	1,881,591	1,663,248
負債合計	3,427,526	3,167,034
純資産の部		
株主資本		
資本金	712,158	713,258
資本剰余金	805,825	806,925
利益剰余金	295,184	306,483
自己株式	△20,378	△20,378
株主資本合計	1,792,790	1,806,289
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	152	128
為替換算調整勘定	△2,332	△2,000
その他の包括利益累計額合計	△2,179	△1,871
非支配株主持分	—	4,095
純資産合計	1,790,610	1,808,512
負債純資産合計	5,218,136	4,975,547

(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書

中間連結損益計算書

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年8月1日 至 2024年1月31日)	当中間連結会計期間 (自 2024年8月1日 至 2025年1月31日)
売上高	1,635,399	1,824,799
売上原価	1,086,445	1,209,600
売上総利益	548,953	615,199
販売費及び一般管理費	590,364	589,558
営業利益又は営業損失(△)	△41,410	25,640
営業外収益		
為替差益	15,036	7,482
受取賃貸料	3,103	3,103
補助金収入	14	1,973
その他	1,569	2,001
営業外収益合計	19,723	14,560
営業外費用		
支払利息	13,314	17,168
貸倒引当金繰入額	△12	0
コミットメントフィー	233	—
その他	1,354	1,174
営業外費用合計	14,890	18,342
経常利益又は経常損失(△)	△36,577	21,857
特別損失		
盗難損失	—	2,946
固定資産除売却損	—	662
特別損失合計	—	3,608
税金等調整前中間純利益又は税金等調整前中間純損失(△)	△36,577	18,248
法人税、住民税及び事業税	1,874	1,701
法人税等調整額	△2,922	△75
法人税等合計	△1,048	1,626
中間純利益又は中間純損失(△)	△35,528	16,622
非支配株主に帰属する中間純損失(△)	—	△628
親会社株主に帰属する中間純利益又は親会社株主に帰属する中間純損失(△)	△35,528	17,251

中間連結包括利益計算書

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年8月1日 至 2024年1月31日)	当中間連結会計期間 (自 2024年8月1日 至 2025年1月31日)
中間純利益又は中間純損失(△)	△35,528	16,622
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△15	△23
為替換算調整勘定	858	331
その他の包括利益合計	843	308
中間包括利益	△34,685	16,930
(内訳)		
親会社株主に係る中間包括利益	△34,685	17,528
非支配株主に係る中間包括利益	—	△597

(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年8月1日 至 2024年1月31日)	当中間連結会計期間 (自 2024年8月1日 至 2025年1月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前中間純利益又は税金等調整前中間純損失(△)	△36,577	18,248
減価償却費	48,500	56,729
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△28,871	708
受取利息及び受取配当金	△550	△702
支払利息	13,314	17,168
為替差損益(△は益)	△12,069	△7,505
固定資産除売却損益(△は益)	—	662
盗難損失	—	2,946
売上債権の増減額(△は増加)	△30,050	△89,812
棚卸資産の増減額(△は増加)	177,237	109,925
仕入債務の増減額(△は減少)	32,428	△4,878
賞与引当金の増減額(△は減少)	2,645	1,272
前受金の増減額(△は減少)	406	△4,337
未払又は未収消費税等の増減額	52,512	56,752
その他	23,899	△10,687
小計	242,824	146,490
利息及び配当金の受取額	550	702
利息の支払額	△12,453	△15,854
法人税等の支払額	△3,566	△3,372
法人税等の還付額	23	62
営業活動によるキャッシュ・フロー	227,378	128,027
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△2,430	△8,018
無形固定資産の取得による支出	△5,637	△3,969
定期預金の預入による支出	△21,000	△70,600
定期預金の払戻による収入	12,000	51,800
長期貸付けによる支出	△2,400	—
長期貸付金の回収による収入	2,997	3,025
その他	△4,758	△600
投資活動によるキャッシュ・フロー	△21,229	△28,362
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△46,000	60,000
長期借入れによる収入	150,000	—
長期借入金の返済による支出	△264,766	△264,388
社債の償還による支出	△27,000	△27,000
株式の発行による収入	—	2,200
配当金の支払額	△12,743	△5,925
非支配株主からの払込みによる収入	—	4,630
ファイナンス・リース債務の返済による支出	—	△2,500
財務活動によるキャッシュ・フロー	△200,509	△232,983
現金及び現金同等物に係る換算差額	10,755	3,885
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	16,395	△129,433
現金及び現金同等物の期首残高	584,844	909,385
現金及び現金同等物の中間期末残高	601,240	779,951

(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等の注記)

当社グループの事業セグメントは、ジュエリー事業のみの単一セグメントであるため、セグメント情報の記載を省略しております。

(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)

(連結の範囲の重要な変更)

当中間連結会計期間より、新たに設立したCrossfor(Thailand)co.,Ltd.及びCROSSFOR INDIA PRIVATE LIMITEDを連結の範囲に含めております